

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月1日

配布数 7

回収数 7

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール筑前

	チェック項目	割合(%)			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	85.7%	14.3%	0.0%		
	2 職員の配置数は適切である	85.7%	14.3%	0.0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	0.0%	視覚支援が必要なお子様については、分かりやすく動きやすいように構造化しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100.0%	0.0%	0.0%		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	85.7%	0.0%	14.3%	スクール長をはじめ、全職員がより良い支援にしようとして活動しております。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	71.4%	0.0%	28.6%	・プライバシーに配慮しながらも、丁寧に行っております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	71.4%	0.0%	28.6%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	85.7%	0.0%	14.3%	・積極的に研修に行き、職員間で研修報告等、共有を密に行なっております。 ・知識を深められる内容の座学、実技の研修は外部研修で積極的に参加しております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	85.7%	0.0%	14.3%	・職員一同でアセスメントを行うことを意識しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	85.7%	0.0%	14.3%		
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	85.7%	0.0%	14.3%		
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	85.7%	0.0%	14.3%		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	85.7%	0.0%	14.3%	・相談しやすい雰囲気職場にあるため、毎回のカンファレンスで、意見を出し合っております。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	85.7%	0.0%	14.3%	・お子様一人ひとりに合わせて毎回考えております。 ・他の職員がセッションで取り入れたものを皆が共有し、それぞれ必要なお子様への支援に役立てております。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	71.4%	0.0%	28.6%		
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	85.7%	0.0%	14.3%		
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	85.7%	0.0%	14.3%	・自由遊びの様子も含め丁寧にお子様の様子の振り返りを行っております。	
関係機関	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	85.7%	0.0%	14.3%		
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	85.7%	0.0%	14.3%		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	85.7%	0.0%	14.3%	・お子様について最も理解、把握している職員が参画するようにしております。	
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	85.7%	0.0%	14.3%	・お子様が関わられる機関と丁寧に連携を行っております。	
22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	85.7%	0.0%	14.3%	・園とも、スクールでの様子を伝えたり、園の様子を伺ったりする中で、今後の支援内容を考えております。		

や保護者との連携	23	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14.3%	42.9%	42.9%		
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71.4%	14.3%	14.3%	・訪問したり、見学に来ていただいたり、電話での情報共有も積極的にこなっております。	
	25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	71.4%	14.3%	14.3%	・児童発達支援事業所(市が開催)の連絡会に参加しております。	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	85.7%	0.0%	14.3%	・毎回、保護者様と15分間の振り返りを実施しております。 ・セッションの様子についてだけでなく、園や自宅の様子なども詳しくお伺いしております。	
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	85.7%	0.0%	14.3%	・スクール長がもれのないよう、丁寧に行わせて頂いております。	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	85.7%	0.0%	14.3%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	85.7%	0.0%	14.3%	・職員一同丁寧に行わせて頂くように心がけております。 ・保護者様にどのような方向性や伝え方が適切かを毎回のカンファレンスで話し合ってからお伝えするようにしております。	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	85.7%	0.0%	14.3%	・保護者様からの相談内容は、毎回のカンファレンス時に職員同士で情報共有し、迅速に対応できるようにしております。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	85.7%	0.0%	14.3%	・ボードに掲示し、必要に応じて配布をさせて頂いております。 ・さらさら通信や眠育のすすめの他、言葉の資料、お知らせなど必要な情報については発信しております。	
	32	個人情報の取扱いに十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	85.7%	0.0%	14.3%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	85.7%	14.3%	0.0%		マニュアルについては社外秘となっているため、公表の予定は御座いません。非常災害時に迅速かつ適切な避難・誘導ができるように年2回の避難訓練を実施しています。今後は、訓練実施について、保護者様連絡アプリを用いた周知を考えております。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100.0%	0.0%	0.0%	・ファイルにシールを貼り、一目見て注意が必要なお子様かどうかわかるようにしております。	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%	・対応を毎回素早くするようにし、改善に向けてチームで考えております。	
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%		